

事業名	性教育の実践調査研究	
主管課及び関係課(課長名)	(主管課) スポーツ・青少年局学校健康教育課(課長: 大木 高仁)	
上位施策目標	施策目標 7 - 4 学校における健康教育の充実 達成目標 7 - 4 - 1 学校保健の充実により、児童生徒の健康増進を図るための取組状況を改善する。	
事業の概要	学校関係者や学識経験者等からなる調査研究委員会を本省に設置し、学校における性教育の取組状況を事例集としてまとめるとともに、今後の性教育の効果的な進め方について調査研究を行う。また、性教育に関する専門家等を活用し、児童生徒の発達段階に応じた性に関する科学的知識や生命尊重、人権尊重、自ら考え判断する意志決定の能力を身につけ、望ましい行動をとれるようにすることをねらいとした効果的な指導方法について実践的な調査研究を小・中・高等学校を含む地域に委嘱して行う。	
予算額及び事業開始年度	平成16年度概算要求額: 84百万円 事業開始年度: 平成16年度	
必要性	近年、児童生徒にとって有害な性に関する情報や産業が氾濫している中、児童生徒が性に関連した事件に巻き込まれたり、クラミジアをはじめとする10代の性感染症、人工妊娠中絶の急増が問題となっているところである。このような状況を踏まえ、児童生徒が自らの将来にとってマイナスにならないような行動をとれるよう学校における性教育の充実を図る必要がある。	
効率性	本事業の予算規模は84百万円であるが、事業を実施することで得られると思われる今後の性教育の効果的な進め方等の普及効果を考えると、本事業は効率的に実施されると考えられる。	
有効	達成効果の把握の仕方(検証の手順)	各教育委員会の担当者等が参加する会議等を通じて、本事業での検討を踏まえて作成する各種指導資料等の成果物が、どの程度効果が得られているかを把握する。
	得ようとする効果の達成見込みの判断根拠(判断基準)	学校や地域において状況が異なるものについては、情報を共有することが有効である。当該事業の効果については、当該事業に類似した「エイズ教育(性教育)推進地域事業」の実施により、性感染症の予防等について効果的な指導方法が見られたことから、同様の効果が得られると判断。
得ようとする効果及び達成年度	性教育の取組事例集の作成、効果的な指導方法について実践的な調査研究を行うことにより、学校における性教育の充実に資する。	達成年度
		平成20年度
備考	本事業は、「エイズ教育(性教育)推進地域事業」(平成5年度開始)の見直しを図ったものである。	

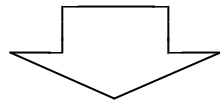
性教育の実践調査研究

要 求 額 8 4 百 万 円

(背景)

児童生徒の体格が向上するとともに性的な成熟が早まってきている一方、性に関する情報や産業が氾濫するなど児童生徒を取り巻く社会環境が大きく変化。

若年層における性の逸脱行動や性感染症の増加。



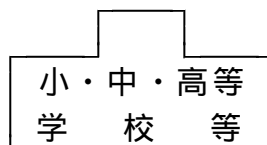
性教育の効果的な進め方に関する調査研究

学校関係者や学識経験者等からなる調査研究委員会を本省に置き、学校における性教育の取組状況を事例集としてまとめるとともに、性教育の効果的な進め方について調査研究を行う。

性教育実践調査研究事業の実施

性教育の専門家や地域保健を活用し、児童生徒の発達段階に応じた性に関する科学的知識や生命尊重、人権尊重、自ら考え、判断する意志決定の能力を身につけ望ましい行動をとれるようにすることをねらいとした効果的な指導方法等について実践的な調査研究を行う。

《活用イメージ》



実践的な調査研究の実施

効果的な指導方法等を
事例集としてまとめる